

マジックで学んだこと

修明高等学校 1年

佐川 勝教（さがわ かつのり）



皆さん、マジックは好きですか？私はマジックをするのが得意です。私とマジックとの出会いは、10歳の頃、子供会の行事でテレビでも有名なマジシャンである「魔耶一星」という人のマジックを見たことです。その時とても驚き格好いいと感じたことを覚えています。それから5年後の中学2年生春休み、その感動をふと思い出し「暇だからやってみよう！」と思ったのが、マジックにはまったきっかけです。

最初に練習したのは、リフルシャッフルというテクニックです。マジックをやるうえで大切なのは第一印象です。マジックの最初に「こいつすげー」と思わせないと、それからどんなマジックをしても、薄い反応しかしてもらえません。良い第一印象を植え付けるのにリフルシャッフルはとても有効です。それからは、真ん中に入れたカードが一番上に来る瞬間移動マジックなどさまざまなマジックを覚えていきました。

私はマジックをやる上で、こだわっていることがあります。それは、ほぼトランプマジックしかやらないことです。なぜかという、コインマジックは、種が簡単で面白くないからです。それに対して、トランプマジックは技術が難しいので、種明かしをしても「よくそんな事ができるね。すげー。」と言われる。トランプマジックは、やって驚かせて、種明かしをして驚かせて2回も驚いてもらえるのです。

さて、三日坊主の私なのですが、マジックだけは今でも練習しています。それはマジックに魅力があるからです。マジックは、テレビを見ながらやちよとした空き時間に練習できてとても手軽です。また、難しいテクニックが出来るようになるととても嬉しくなります。そしてなにより、見てくれた相手を驚かせ楽しませることが出来ます。つまり、マジックは難しいことにチャレンジするやらいと、他の人にまで喜んでもらえるという魅力があるのです。

私は、マジックを通じて学んだことが2つあります。一つ目は、人をだますコツが分かることです。例えば、マジックの技術の一つで「ミスディレクション」というものがあります。「こちらのカードを見てください。」と言い、1枚のカードを掲げて見せます。その間に他の1枚を細工するのですが、みんなそのカードに集中して、細工をしていることに全く気付きません。人は一つの事に集中すると、周りが見えなくなってしまうのです。このように人をだますコツが分かるようになり、逆に他人からだまされない注意深い人間になります。マジックをすることで自分を守るようになるのです。

二つ目は、今、目に見えているものの裏には必ず支えてくれている人がいるということです。表ではニコニコ手際よくマジックをしても、その裏では地道な努力が必要です。同じように、今私が立っている前のこの机も、私が見えないところで誰かが頑張って作ったものです。このように全てのものの裏には地道な努力があるのです。マジックを通じて、物の大切さや支えてくれている人への感謝ということを考えることができました。

修明高校では今年10月に、3年に一度の公開文化祭「白藍祭」があります。その際、クラスの出し物でマジックをやる機会があります。私はその時までにより一層マジックに磨きをかけてクラスに貢献したいと思っています。最後に、私はマジックを通して、人を驚かせ楽しませる喜びが分かるようになりました。人を楽しませることは、人の為になることの一つです。将来、人を笑顔にさせながら人の為になる仕事につけるよう、これから頑張っていこうと思います。